

00-02	タイトル	事故前の暮らし 証言映像
01-24	Photo	○○○(○○○○)○○ ○○○○○○ ○○ ○○○○
	Photo	双葉町に来て、いろんな不安もあったんですけど、やっぱり双葉の人たちがすごく良くて・ よかったなってそれは今でも思うし、 私たち家族を助けてくれて、いつも守ってくれて、 とても良い人に囲まれていたなって思います。
	S P ; 結婚を機に双葉町に移り住む S P ; 双葉町の人達があたたかく家族を助けいつもまもってくれた	
	※インサート 双葉海水浴場 S P ; 双葉海水浴場毎年元旦に「標葉(読み仮名追記:しねは)せんだん太鼓保存会」が演奏を行っていた	初日の出の日に、ここで息子が当時在籍していた双葉町の「せんだん太鼓」を演奏したんですね。
	Photo	それが子どもの成長を見るものと、
	※インサート 海岸	今年1年、またここでっていうワクワクする気持ちと一緒に、見るのがとっても大好きでした。

02-24	Photo	やっぱり、海は変わらないですね。 海は変わらない。全然。 だけど、人がいない双葉町の海は、うん、ちょっとつらいかな…。
	S P ; 海は変わらない	
02-30	Photo	○○○・○○○ ○○ ○○○○
	※インサート 料理をする○○○○ S P ; バレーボールなどの村の行事のあとの反省会などに利用されていた	バレーボールとかソフトボールとか、そういうイベント的なものがあると、必ず反省会ってものがありまして、まあ、10人20人っていう方がみなさん宴会をやって頂いて、
	Photo	前の店に関しては、なんぼか、みなさんのために役立ったのかなっていう感じは持っています。
	S P ; 村になくてはならない存在	
	※インサート チャーハンの盛りつけチャーハン S P ; ○○○○は「大盛りチャーハン」が名物の村の人気店 ※焼きそば袋にモザイク加工	腹いっぱい食べていただくっていう事でだんだん量も多くなってきて、調理場のほうでも聞こえるんですよ。「すごいんだよ」とか「大盛り食べきれないよ」とか言う声が聞こえるもんですから、それを聞くと、だんだん多くなっちゃうんですね。
	Photo	避難してからはやっぱり、帰って店をやろうっていうことは
	S P ; 震災後は三春町の架設住宅で店を出していたが○○○○○○○○○○○○○○○○	


	※インサート 〇〇〇での再開の様子	考えてましたので、自分のふるさとでやっぱり、 親の代からやった店なんだから
	Photo SP: 〇〇〇で店を やらなければ	〇〇で営業しなくちゃなんないなあって、常に考えて いました。
03-27		
	Photo	〇〇〇〇: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇- (〇〇〇〇) 〇〇〇 〇〇〇〇
	00-08	
	※インサート (申請中) 〇〇〇〇〇〇の 賑わいの様子 SP: 「〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇」は福島県を代表す る大型レジャー施設	一年を通して 28 度の暖かい気温の中で、いろんな世 代の方が、楽しんで頂ける施設でした。
	Photo	特に、このショー会場にたくさんのお客様が いらっしやって頂いて
	※インサート フラガールのショー SP: フラガールらに よる本格的なショーが 楽しめる	フラガールがそこで踊りを披露している。 そういう姿がメインになるのかなと思っています。




	Photo	当時従業員もいれまして 2500 名の人たちがここに いましたので、その人たちが無事かどうかが一番心配 だったんですが、発生の瞬間、その確認する手段がな かったんです。
	SP: 震災当日 2500 人 施設内に SP: 震災の 1 か月後 の余震で建物には、さら に大きな被害があった	実は、そのあとのですね、1 か月後の 4 月 11 日に 余震で、
01-18	※インサート プールの修復工事 SP: メインプールの 下が断層となっており特 に被害が大きかった	かなり被害が…そっちの方が大きかったですね。 ここは断層で施設がズレているようなそんな状況 でした。
	※インサート フラガールの慰問風景 SP: ホテルの休業中 「フラガール全国きず なキャラバン」は全国 26 都道府県で 245 回の 公演を行ってきた	休んでいる期間もですね、フラガールが全国キャラバ ンということで、いろんな箇所に出向いて、元気をお 届けすると。 みんなでがんばって…
	Photo SP: 笑顔と元気と勇 気を届けてきた	笑顔と元気でそれから勇気と そういうものをお届けした期間でした。


A1-2 キーワード	東日本大震災 ～地震と津波の記録～①
ねらい	原発事故のきっかけとなった地震と津波。 この複合災害の発生時に市民はどのような気持ちで受け止め、 行動したのかについて、証言から探る。

氏名：○○○○

関連市町村：○○○○



映像	キャプション or コメント
<p>Photo</p> <p>人物紹介カット</p>	<p>(キャプション)</p> <p>○○○○○○○○○○(○○○○)</p> <p>○○ ○○○</p> <p>(コメント)</p> <p>津波、 津波、来ます来ますっていう話になって 暫くしたら奥の防波堤が見えなくなって</p>
 <p>館内から見る津波の様子①</p>  <p>館内から見る津波の様子②</p>	<p>(コメント)</p> <p>白い波があがってきて 本当に津波来たんだってって</p> <p>水がどんどんどん 上がってくるっていう状況でしたね</p>


<p>Photo</p> <p>1S インタビュー</p>  <p>アザラシ①</p>  <p>アザラシ②</p>	<p>(コメント)</p> <p>電気も全然ないような状況で</p> <p>僕はそのときはアザラシとかドとか あれの担当だったんですよ</p> <p>その動物だけは何とかしたいなと思って ほかの水族館に連絡をして</p>
<p>Photo</p> <p>1S インタビュー</p>  <p>再オープン時の様子</p>	<p>(コメント)</p> <p>原発が爆発している最中に こちらに助けに来てくれたというのが 一番心に残っていますし、 すごくうれしい出来事でしたね</p> <p>(コメント)</p> <p>1週間前まで本当にオープンできんのかみたいな 感じでやっていたので オープンしたときはやったな、よかったなって感じで ホッとしましたね</p>

<p>Photo</p>  <p>1S インタビュー</p>	<p>(コメント)</p> <p>こういう災害って忘れたい部分と忘れちゃいけない部分とがあって 何を残していくのかというのが すごく大事なことなんだという気がします</p>
<p>END</p>	

A1-2 キーワード	東日本大震災 ～地震と津波の記録～②
ねらい	原発事故のきっかけとなった地震と津波。 この複合災害の発生時に市民はどのような気持ちで受け止め、 行動したのかについて、証言から探る。

氏名：○○○○
関連市町村：○○○○○

映像	キャプション or コメント
<p>Photo</p> <p>人物紹介カット</p>	<p>(キャプション)</p> <p>○○○○:○○○○○○○○ ○○○(○○○○) ○○○○</p> <p>(コメント)</p> <p>道路が大体3メートルから5メートル 陥没しているという話なんです</p>
 <p>水道管破裂修理工事 写真①</p>  <p>会津市内 被災状況 写真②</p>	<p>(コメント)</p> <p>その後に水道管の破裂ですか ちょっと街の状態がどうなっているんだろうみたいな</p> <p>(コメント)</p> <p>そのくらいビックリしたんですけども それで当時の団長と我々副団長3人で 対応してやっていた</p>

 <p>対策本部 写真</p>	<p>(コメント)</p> <p>第1回目が、対策本部ができて その話がいろんな形で聞けるようになってきました</p>
<p>Photo</p> <p>1S</p>	<p>(コメント)</p> <p>震災当時は原発というのが全然頭になくて 行動していたものですから</p>
 <p>スクリーニング検査の様子資料映像</p>	<p>(コメント)</p> <p>避難者がどどんどん会津の方に 向かっているっていう話を役所の方から聞きまして スクリーニング検査ってあの頃、 被爆検査みたいなのがあったんですけど</p>
<p>Photo</p> <p>1S</p>	<p>(コメント)</p> <p>それから随時避難所を4箇所くらいに増やして</p>
 <p>避難所の様子 写真①</p>  <p>避難所の様子 写真②</p>	<p>(コメント)</p> <p>そこに、スクリーニング検査を受けた証明書を 見ながら その人を避難所に誘導するみたいな。</p>

<p>Photo</p>	<p>(コメント) やっぱり1か月くらいは びっしりと動いていたような気がします</p>
<p>1S</p>	
<p>END</p>	

A1-2 キーワード	東日本大震災 ～地震と津波の記録～③
ねらい	原発事故のきっかけとなった地震と津波。 この複合災害の発生時に市民はどのような気持ちで受け止め、 行動したのかについて、証言から探る。

氏名：○○○○

関連市町村：○○○○

映像	キャプション or コメント
Photo	(キャプション) ○○○○ ○○○○ ○○○○○○○○○○ ○○○○
人物紹介カット	
Photo	(コメント) 春の使用に向かって満水状態でした 約150万トン貯まっておりました
1Sインタビュー	
※インサート1枚 震災時の藤沼湖①	(コメント) それが、来たときは全然無くなって
※インサート1枚 震災時の藤沼湖②	もう、149.2mの堤防が全部無くなってしまっている ということで これは、すごい被害だったんだなってその時感じました
Photo	


 調査の様子2画像	(コメント) 当然農家の人たちがこれから春先に向かって 使用しなくちゃならない水ですし
Photo	(コメント) あとここは、地域の人たちが憩う場所でした
1Sインタビュー	
 湖底を歩く会	(コメント) この長沼地域がバラバラになってしまうと この藤沼湖を一回みんなで、外からじゃなくて 中から見てみようという話が出まして
 藤沼湖のアジサイ	(コメント) それでその歩いている中に、 偶然アジサイが見つかったと どうしてここにアジサイがあるんだ ということになったんですけども
Photo	これを何とかみんなで育てて この地域をまとめろという、そういうしるじじゃないかと
1Sインタビュー	
※インサート2枚 あじさいの花	

<p style="text-align: center;">Photo</p> <p>1S インタビュー</p>	<p>(コメント)</p> <p>みんなバラバラになってしまうということが やっとひとつにまとまれるということで 皆さんとそういう話をしながら、今過ごしています</p>
END	

A1-3 キーワード	原子力発電所事故の発生①
ねらい	原発事故が起こった瞬間、そして次々と起こる想定外の事態。 津波が到達してから原子力発電所で起きた事象中、 住民はどのように対応したのか 情報がどのように伝わったのかを、証言の中から探る。

氏名：○○○○

関連市町村：○○○

映像	キャプション or コメント
 <p>Photo</p> <p>人物紹介カット</p>	<p>(キャプション)</p> <p>○○○○:○○○○○○○○○○ ○○○</p> <p>○○○○</p> <p>(コメント)</p> <p>現場で今何が起きているかというのは みんなで共有するためにスピーカーで 音声が行れるんですよ</p>
<p>※インサート1枚 【第一原発 ロング】 ※キャプション 震災後、福島第一原発内に設置された緊急対策本部に避難</p>	<p>(コメント)</p> <p>ベント開始成功しましたって</p> <p>1時間ちょっと過ぎたらドーンとききましたからね</p>
<p>※インサート1枚 【第一原発 3号機】</p>	<p>大きさに言えば、ほんとにね 5センチ10センチ飛びあがるくらい で、天井がバラバラってきましたからね</p>

 <p>Photo</p> <p>当時の手書きメモ①</p>	<p>(コメント)</p> <p>3号機が爆発したあとに 原子炉の状況を確認しなくちゃいけないんですよね</p>
 <p>Photo</p> <p>当時の手書きメモ②</p>	<p>(コメント)</p> <p>現場はもう高線量になっているんですよ</p>
 <p>Photo</p> <p>1Sインタビュー</p>	<p>(コメント)</p> <p>現場に誰が行かなくちゃいけないよとなったときに やはり手を挙げて、自ら名乗り出て、 行く人がいたんですよ</p>
<p>※インサート1枚 【第一原発 ロング】</p>	<p>(コメント)</p> <p>備蓄した水も少なくなってきていたのね 我々は1日2リットルしかもらえなかったんですよ だけど行く人に水あるかって言ったら 俺の水飲んでけて</p>
 <p>Photo</p> <p>1Sインタビュー</p>	<p>(コメント)</p> <p>それほど熱心に 電力の人はがんばっていたんですよ それは絶対伝えたい</p>
END	

A1-3 キーワード	原子力発電所事故の発生②
ねらい	原発事故が起こった瞬間、そして次々と起こる想定外の事態。 津波が到達してから原子力発電所で起きた事象中、 住民はどのように対応したのか 情報がどのように伝わったのかを、証言の中から探る。

氏名：○○○○

関連市町村：○○○

映像	キャプション or コメント
<div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; text-align: center;">Photo</div> <p>人物紹介カット</p> <p>※インサート1枚 【当時の記録が記載してあるホワイトボードの写真】</p> <p>※テロップ修正 「救命士(震災当時)」</p> <p>1S インタビュー</p>	<p>(キャプション)</p> <p>※震災当時の役職に差し替え</p> <p>○○○○:○○○○○○○○○○○○○○○○ ●</p> <p>●● ○○○○</p>
<div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; text-align: center;">Photo</div>	<p>(コメント)</p> <p>アラーム付きのポケット線量計というのが あるんですけどそれを付けていきますと 1マイクロを感知するとピッという感知音がなって 数値があがるんですよ</p>
<p>浪江町のある病院にまだ搬送できていない 高齢者が数名いるんだと</p> <p>とにかく運んでくれと 対馬活性化センターというところに運んでください というオーダーがあったので</p>	<p>(コメント)</p> <p>浪江町のある病院にまだ搬送できていない 高齢者が数名いるんだと</p> <p>とにかく運んでくれと 対馬活性化センターというところに運んでください というオーダーがあったので</p>

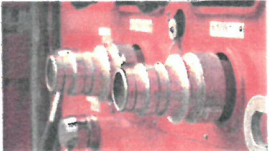

<div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; text-align: center;">Photo</div> <p>消防車 文字より ※インサート1枚 【消防車紋章】</p>	<p>対馬の方にいったら近づいたら ピッピッピッと間隔が短くなって これはもうきてるなと</p>
<div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; text-align: center;">Photo</div> <p>1S インタビュー</p>	<p>(コメント)</p> <p>自宅には妻と両親がおりましたので そこはちょっと心配だったですよ</p>
<div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; text-align: center;">Photo</div> <p>消防本部 看板</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; text-align: center;">Photo</div> <p>消防車両</p>  <p>車両ヨリ イメージ</p>	<p>(コメント)</p> <p>これは覚悟しなくちゃならないなと もし万が一家族に何かあったら</p> <p>(コメント)</p> <p>後での話なんですけど</p> <p>(コメント)</p> <p>連絡ついたのが16日頃だったんですよ 無事避難したという話を聞いたので</p>

Photo	(コメント) じゃあ良かったなということで そこからは、もうこれはやるしかないということで 災害対応にあたりましたね
1S インタビュー	END

A1-3 キーワード	原子力発電所事故の発生③
ねらい	原発事故が起こった瞬間、そして次々と起こる想定外の事態。 津波が到達してから原子力発電所で起きた事象中、 住民はどのように対応したのか 情報がどのように伝わったのかを、証言の中から探る。

氏名：○○○○○

関連市町村：○○○

映像	キャプション or コメント
Photo	(キャプション) ○○○ ○○○○○
人物紹介カット 1Sインタビュー	(コメント) 隣の奥さんがもみじの木のところ 今地震だと言って言われて
	(コメント) じゃあ私も一緒に掴まらせて 今、こんな太くなってるもみじの木なんですが 二人で掴まっていた
実際に掴まったもみじの木	
Photo	(コメント) 何日も前から地震はあった 地震はいつものことだ位に思って、慌てなかったです その時点では、原発も、何も頭には浮かばなかった
○○○○宅門扉	
Photo	
○○○○宅 表札	

	(コメント) ビッグバレットにみんなこういうところに 集まってるんだなって思ったから だから何ともなかったです
ビッグバレットふくしま 外観	
※インサート1枚 【ビッグバレット内当時の様子】 ※キャプション 富岡町からビッグバレットふくしま(郡山市)へ避難	(コメント) そして、寝るところはコンクリートだったんですね それでみんなダンボールの奪い合いっていうか 2枚も3枚も取って競争でね
1Sインタビュー	私、毛布もらえないと寝られないって言ったら
	(コメント) ここにあるもの何でもいいから 毛布の代わりになるものあったらもらっていきなって 係りの人に言われて 私は座布団2枚だけもらってきました
避難所の写真	その座布団敷いた夜はゆっくり寝られた
	
避難所の写真 ヨリ	
Photo	(コメント) やっぱりそれまでの自分の生活をうんと反省しました ね。 最小限のものは自分で持っていて あとの物は寄付したり 人にあげて、役に立ててもらえるように そんな気持ちで今は生活しています
1Sインタビュー	
	

〇〇〇〇夫婦の避難所スペース







もらった座布団

END

福島県アーカイブ施設 証言映像_A1-4 災害対策本部の記録_①

黒みタイトル (0-02)

① (0-08)	Photo	①○○○○ : ○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○ ○○ ○○○○
① (0-18)	Photo Insert   Photo	(大熊町のオフサイトセンターに到着したのは) 3月11日の午後10時40分ごろですね 着いた時には3キロの避難指示が出ていたんですが 想定内だったんですね。 ところが10キロとなると避難指示の範囲に（オフサイト センターが）入ってしまうんですね。 今まででは考えられないような事故なんだなというよう な思いを持ちました。
① (0-05)	Insert 	特に記憶にあるのは通信状況の悪さですね。
①	Photo	スピーディという 線量分かるデータがあるんですけど ※キャプション SPEEDI 放射性物質の大気中濃度や被ばく線量を予測する計算シ ステム

① (0-17)	Insert  Insertもう1枚 (SPEEDI システム パ ソコンの映像) Photo Photo	それが全く住民安全班長である私のところに来なかつた んですね。 でもその情報があれば… 悔しいと言いますが、残念な思いが強いです。
① (0-11)	Photo	未来を切り開きながら、新しい時代にふさわしい福島を築 いていく…そういう思いで取り組んでいきたいと考えて います。

(1-01)

福島県アーカイブ施設 証言映像_A1-4 災害対策本部の記録_②

① (0-07)	Photo	①○○○○ : ○○○○○○○○○○○○○ ○○○ ○○ ○○○
①	Photo	まさにここ（県庁正庁）が当時のオフサイトセンターになった訳です。 ※キャプション修正 「～大熊町から 福島県庁 へ移転を余儀なくされた」
①	インサート  インサートもう1枚 (県庁正庁前廊下)	てんやわんやの状況でした。 原子力発電所が今どうなっているかとか
①	Photo	モニタリングの状況とか そういう情報が 迅速にまた正確に 入らないような状況でしたね。
① (0-28)	インサートもう1枚 (原子力災害現地対策本部当時の様子) Photo	あやふやな情報を決して伝えない… ということは心掛けていました。
①	Photo	(原発事故は)何万人、何十万人という人の人生を変えてしまったと…
①		

① (0-24)	Photo	原子力に携わったものとして、このふくしまを良いところ にしたい。また、廃炉を何とか進めていきたい… そういう想いですね。
-----------------	-------	--

(0-59)

福島県アーカイブ施設 証言映像_A1-4 災害対策本部の記録_③

<p>①</p> <p>(0-06)</p>	<p>Photo</p>	<p>①○○○○ : ○○○○○○ ○○○○ ○○○ ○○○○</p>
<p>①</p> <p>①</p>	<p>Photo</p> <p>①</p> <p>インサート</p>  <p>インサートもう1枚 (庁内廊下の様子)</p>	<p>(揺れの) 状況がひどくなるにつれて、これはまずいぞと いうことで庁舎内の皆さんを外に誘導して、</p> <p>あとはもう、役場の壁、ガラスが割れながら崩れ落ちてい くのを見ている…という状況でした</p>
<p>①</p> <p>①</p> <p>(0-39)</p>	<p>①</p> <p>インサート</p>    <p>Photo</p>	<p>翌日から原子力災害の併発によりまして浜通りの方々が 川俣町に避難するという形になりましたので…</p> <p>何をすべきか 何が必要なのか 何を求められているの か</p> <p>その日、その時で把握する…ということで精一杯でした。</p>

<p>①</p> <p>①</p> <p>①</p> <p>①</p> <p>①</p> <p>(0-39)</p>	<p>Photo</p> <p>①</p> <p>インサート</p>  <p>Photo</p> <p>Photo</p>	<p>避難しなくちゃならない方、避難しないで済む方、</p> <p>避難したことによって受けられる制度が…避難指示がな いところでは受けられない…</p> <p>そういった相違というものが同じ町民の中に存在してし まった。</p> <p>いらだちと焦りが非常に大きかったです。</p> <p>当事者として携わった私も、当時の悲惨な状況が風化しな いように、やるべきことをしっかりと伝えていく…という のが私の務めと考えております。</p>
--	--	---

(1-24)

A2-1 キーワード	避難の開始①
ねらい	全町避難、情報の錯綜、避難生活の変遷など 原子力災害直後の避難状況を、証言を通して伝える。

氏名：○○○○

関連市町村：○○○




映像	キャプション or コメント
<p>Photo</p> <p>人物紹介カット</p> <p>1S インタビュー</p>	<p>(キャプション)</p> <p>○○○○○○○</p> <p>○○○○</p> <p>(コメント)</p> <p>双葉町は埼玉県の 旧騎西高校に避難しますという</p>
 <p>旧騎西高校 外観2枚</p>  <p>旧騎西高校 避難所の様子</p>	<p>(コメント)</p> <p>アナウンスがありまして</p> <p>何にもなかったから 着の身着のまま避難してきたわけですよ</p> <p>もう町民が競争ですよ、</p>

Photo	(コメント) だから、その光景を見たときに私、 何か役に立てることあるのかな、と
1S インタビュー	
※インサート1枚 当時の避難所スタッフの写真	(コメント) 私が物資の担当になったら厳しくやりましたので この鬼とかね お前、何様の気してるんだとかね
※インサート1枚 当時の避難所物資の映像	(コメント) 殺気立ってましたから
※インサート1枚 避難した高校の外観2枚	(コメント) 生徒ホールというところがありまして 歌手の方が来て歌を歌ったり ギター演奏があつたりということで それで和んだといえますかね それで 1年くらいしてからですね、 そういう余裕が出てきたのは
Photo	
1S インタビュー	
END	

A2-1 キーワード	避難の開始②
ねらい	全町避難、情報の錯綜、避難生活の変遷など 原子力災害直後の避難状況を、証言を通して伝える。

氏名：○○○○
関連市町村：○○○

映像	キャプション or コメント
Photo	(キャプション) ○○○○:○○ ○○ ○○○○
人物紹介カット	(コメント) それでみんな郡山に避難したり
1S インタビュー	あとは親戚の家に避難したりだったんですけど
 川内村の映像2枚	(コメント) 自分はどうしてもこの○○○○○やって 富岡から、大熊から来た人を 集会所に避難してもらってその対応で
Photo	(コメント) 自分は一応親戚の家に、泉にあるんですよ
1S インタビュー	

 ビッグパレットふくしま 外観 ※キャプション 多くの村民がビッグパレットふくしま (郡山市)へ避難	(コメント) そこに避難していましたし 川内村の情勢っていうのが 全然わからなかったんですよ 郡山のビッグパレットに 避難している人が500人くらいいましたから
 ビッグパレット避難所の様子	(コメント) それで実際我々がするのは マスコミ、新聞、 それで知って一時帰宅とかそういうのありましたよね その度に見て
Photo	(コメント) うちの家内と二人でして 川内村民の 何とか励ましたり励まされたりして 色々そういう風にしてやってきました
1S インタビュー	
 今の川内村 ロング	(コメント) 例えば川内村民のいる人だけで 力を合わせて新しい村作り、 これが一番だと思うんですよ
Photo	(コメント) 何とか住民を増やして この川内村を守っていきたいと思います、これからも
1S インタビュー	
END	


A2-1 キーワード	避難の開始③
ねらい	全町避難、情報の錯綜、避難生活の変遷など 原子力災害直後の避難状況を、証言を通して伝える。


氏名：○○○○



関連市町村：○○○○

映像	キャプション or コメント
<p>Photo</p> <p>人物紹介カット</p> <p>1S インタビュー</p>	<p>キャプション or コメント</p> <p>(キャプション) ○○○○○○○○ ○○○○</p> <p>(コメント) まずあそこは工業高校のところは ふたつに分かれているんですね、体育館が。</p>
 <p>小高工業高校 避難所の様子2枚</p>	<p>(コメント) そして600人ずつ入っていたそうです だから本当にもう行ったときに 息子の友だちとかがいて、こっちに來なって 奥の方に行ったんですけど</p>
<p>Photo</p> <p>1S インタビュー</p>	<p>(コメント) 体育館の窓あるでしょ、高いところに それがビリビリビリっていうんですよ、余震で 怖いんですよ</p> <p>これ夜トイレに行くときは どうしたらいいんだろうなと思いました</p>

<p>Photo</p> <p>○○○○歩く様子 横うち</p>	<p>(コメント) みんな横になっているんだろうし 頭蹴飛ばしたり、 体に触ったり必ずするなと思いましたね だからそれがちょっと不安でした</p>
<p>Photo</p> <p>1S インタビュー</p>	<p>(コメント) どこかこの辺に無いですかって聞いたら 無いっていうんですね、避難所はいつばいだって そしたら三重県から嫁さんの父親の弟さんが 三重県の方にいらっやって そこから電話が入って いっそこっちに來たらいいんじゃないかということで</p>
<p>Photo</p> <p>○○○○歩く様子 正面</p>	<p>(コメント) 三重県の津市に入ったんですよ やっぱりあの頃一番怖かったのは 避難していった人たちがいじめられる</p>
<p>Photo</p> <p>1S インタビュー</p>	<p>(コメント) 白い目で見られる、そういうのが怖かった</p>
END	



映像の内容	映像	コメント
<p>○○○○○ ○○ ○○○ ○○○○○</p>	<p>Photo</p>	<p>*○○○○○ 震災後、補助金のメニューなどありまして、</p>
<p>○○○○○前 ○○○</p>	<p>Photo</p>	<p>旅館やらないのか、と皆さんから励ましの声をいただいたんですけど</p>
<p>松川浦バック○○○</p>	<p>Photo</p>	<p>その時にやっぱり、漁も自由にできないという状態の中で、地元のものを使えない</p>
<p>松川浦を眺める○○○</p>		<p>そんな中で、昔のような商売を始めても、いいものだろうかと判断して私は旅館と決別したんですが</p>
<p>○○○○○</p>	<p>Photo</p>	<p>旅館業、生業から成り立たないと判断せざるを得なかったので、</p>


<p>○○○○○</p>	<p>Photo</p>	<p>震災前に戻った、日常に戻った感覚は未だにありません</p>
<p>使われなくなった 漁業用具など</p>		
<p>松川浦バックに○○○</p>	<p>Photo</p>	<p>そういう感覚持てるというのは、風評が無くなって</p>



堤防工事	<p style="text-align: center;">Photo</p> 	
松川浦全景		自由に漁ができ、また観光客の人達も来てくれるような震災前の状況が戻った時でしょうね

松川浦バック ○○○○	<p style="text-align: center;">Photo</p>	難しいでしょうけど
○○○○○○○ ○○○○○	<p style="text-align: center;">Photo</p>	*○○○○○○○ ◇タイトルベース 原発ということで、加工したって売り物にならないから
あんぼ柿バック ○○○○	<p style="text-align: center;">Photo</p>	じゃ廃棄するということで、それぞれ皆取って投げた（捨てた）
作業する○○○○		涙流れるていうか、なんというか言葉に出せなかった状況だった
作業する○○○○		2年間は作業工程全然ないから

	Photo	
--	-------	--

<p>あんぼ柿バック ○○○○</p>	<p>Photo</p>	<p>ただテレビ見て過ごしたような状態で、</p>
<p>あんぼ柿バック ○○○○</p>		<p>でも畑の草とかなんとか刈って手入れしたのだが、 収穫ができない状況だったから</p>
<p>作業する○○○○</p>	<p>Photo</p>	<p>年齢が、年取ってきてるから思うようにはいかない</p>
<p>作業する○○○○</p>	<p>Photo</p>	<p>今、何年続けられるか、不安ではある（※キャプション修正）</p>
		<p>子どもたち、孫たちがこれからどうなんだか</p>

<p>あんぼ柿</p>		<p>おらの時代は年取ったから、この状態で過ごせるが 今後、原発で建物から何から40年、50年かかるという、いろいろ聞いたときに</p>
-------------	---	--

<p>吊るされたあんぼ柿</p> <p>あんぼ柿バック ○○○○</p>	 <p>Photo</p>	<p>やはり子ども、孫たちのこと、やっぱりここに住んでくれるか</p> <p>そういう不安はあったね</p>
<p>○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○○</p> <p>○○○○○○</p>	<p>Photo</p> 	<p>*○○○○○ 熱塩温泉辺りはそんなに被害なかったんですよ</p> <p>それで、私どもは今まで通りの営業をやってました</p>

<p>フロントの○○○○</p> <p>予約書を見る○○○○</p> <p>○○○○</p> <p>客室</p>	<p>Photo</p>  <p>Photo</p> 	<p>もうこれは、商売できないと思いましたよ ほとんど、ゼロゼロゼロで</p> <p>予約書も真っ白、キャンセルになっちゃって</p> <p>一般の営業は出来ないと思いましたがね</p> <p>風評ばっかではないかもしれませんがね 不景気なのかもしれませんが人口減少とかね</p>
--	---	--

浴室




前みたくは戻ってないですよね
売り上げもね

〇〇〇〇

Photo

ああいう、悲惨な事故は無いと思ってますけど
だから、そういうふうには無いように考えて
営業やってますけどね



東日本大震災・原子力災害 伝承館 展示映像 証言「A2-3 国内外の反応と支援」

○項目 映像	イメージ	音声
<p>○オープニング 「国内外からの支援」 クロ背景に字幕</p>		
<p>○プロフィールカット ○○○○○○○○ ○○○ ○○○○○○○○○○ ○○ ○○○○</p> <p>予防チームとヨルダン医療チーム 記念写真</p> <p>○インタビュー 「活動の様子はどうでしたか？」</p> <p>活動の様子（映像F T V）</p>	<p style="text-align: center;">Photo</p> <p style="text-align: center;">Photo</p> <p style="text-align: center;">Photo</p>	<p>（間：2秒ほど）</p> <p>インタビュー【○○○○】</p> <p>私はそのときに、エコノミークラス症候群の予防チームの チームリーダーとして活動していました。</p> <p>たまたまヨルダンのチームの方々が、血管の専門の医療チームだ ということで来ていただけるということがあったので、ぜひうちにと いうことで受け入れました。</p> <p>何かわれわれがしてあげられることは無いか？ そういう強い信念と意志で来て頂いたので、</p>

東日本大震災・原子力災害 伝承館 展示映像 証言「A2-3 国内外の反応と支援」

<p>○インタビュー 「支援の様子を見ていて どんなことを感じましたか？」</p>	<p style="text-align: center;">Photo</p> <p style="text-align: center;">Photo</p> <p style="text-align: center;">Photo</p>	<p>延べ67箇所ぐらいの避難所をまわっていますので、 彼らがいないとそこまでは、たぶん出来なかったんじゃないかなと いう気がしています。</p> <p>被災者の方々は、ヨルダンからもチカラをもらう。 ヨルダンの方も、被災者の方から感謝の言葉をかけられて、ますますやる気になっていくというそういうのが見られて非常によかったかなという風に思っています。</p>
<p>○プロフィールカット ○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○ ○○○</p> <p>○インタビュー 「支援内容の説明」</p>	<p style="text-align: center;">Photo</p>	<p>(間：2秒ほど) インタビュー【○○○○】 「がんばろう！ ふくしま農産品応援BOX」は、○○○○さんと一緒に福島の野菜を詰め合わせた野菜セットみたいなものが出来ないかと、</p>

東日本大震災・原子力災害 伝承館 展示映像 証言「A2-3 国内外の反応と支援」

<p>※字幕を変更しています 「東北6県で販売し・・・」</p> <p>○インタビュー 「商品化を決断した きっかけは？」</p> <p>※字幕を変更しています 「福島の産地で・・・」</p> <p>※字幕を変更しています 「宮城の我々も・・・」</p> <p>○インタビュー 「組合員の方からの リアクションはいかがでした？」</p>	 <p>Photo</p>  <p>Photo</p>	<p>それを組合員さんにお届けすることで、生産者の応援になるのではないかということで生まれた野菜BOXになります。</p> <p>福島で、各生産地、各生産者がいろいろな取り組みで検査を始めて、それについての知識も、学習を我々のほうでもしておりましたので、もしかしたらぜんぜん注文が来ないかもしれないけど、取り組みとしてやっていこうということで、商品化に進みました。</p> <p>まあ良くて1,000点ぐらいかなと思ったら、25,000点ぐらいの注文が、予想以上の注文。それが来たんですよね。</p>
--	---	--

東日本大震災・原子力災害 伝承館 展示映像 証言「A2-3 国内外の反応と支援」

<p>○インタビュー 「BOX が売れるのを見て どのように感じましたか？」</p>	<p style="text-align: center;">Photo</p> <p style="text-align: center;">Photo</p> <p style="text-align: center;">Photo</p>	<p>耳に入ってくる情報というのは、ネガティブなものが、やはりどうしても多くて、いろいろな風評、わからない評判。</p> <p>そういったものが飛び交う中で、こんなに応援したい、利用したいと思ってくれる人が自分たちが思っている以上にいるということに素直にうれしく感動しました。</p>
<p>○プロフィールカット ○○○○○○○○○○ ○○○○ ○ ○○○○ ○○○○</p> <p>○インタビュー 「福島に残ったのは なぜですか？」</p>	<p style="text-align: center;">Photo</p>	<p>(間：2秒ほど) インタビュー【○○○○】 いろいろな人から電話があり、福島を出てスコットランドに戻って来いといわれました。</p>

東日本大震災・原子力災害 伝承館 展示映像 証言「A2-3 国内外の反応と支援」

<p>被災した英会話教室 写真</p>	<p>Photo</p>	<p>でも、私はここで多くの人に支えられてきました。世話になった人たちの家が福島にあり、簡単にそこを離れることが出来なかったのです。</p>
<p>○インタビュー 「福島でやり直そうとした きっかけは？」</p>	<p>Photo</p>	<p>地震から2カ月ほど経って、〇〇〇〇の生徒とスタッフがサプライズパーティーを企画してくれたのです。私が福島に残ったことへの感謝の気持ちを込めて。</p>
<p>サプライズパーティーの様子</p>	<p>Photo</p>	<p>サプライズパーティーで、私はこんなスピーチをしました。 「〇〇〇〇を仙台や東京にも広げていく 万事うまくいくはずだ。」</p>
	<p>Photo</p>	<p>もちろん内心はとても不安で、事業拡大なんて不可能だと思っていました。 でも福島のために何かをしたかったのです。 あの深刻な事態の中で人々を励ましたかったのです。</p>

東日本大震災・原子力災害 伝承館 展示映像 証言「A2-3 国内外の反応と支援」

<p>英会話教室のスタッフ</p>	<p>Photo</p>	<p>私はこんな風に思っほしかったのです。</p>
<p>10周年パーティーの様子</p>	<p>Photo</p>	<p>外国人が立ち上げた、外国人スタッフが中心の会社が、福島で生き残り、県外にまでビジネスを広げていけたなら、他のビジネスでも可能だと。</p>
<p>○インタビュー 「○○○○の今後の目標は？」</p>	<p>Photo</p>	<p>だからみんな必死でがんばり、会社を大きくしていきました。</p>
	<p>Photo</p>	<p>人々を特に福島を、そして日本の若いビジネスマン達を励まし続けたいです。前を向き、夢を追いかけていけるように。</p> <p>END 3分30秒</p>

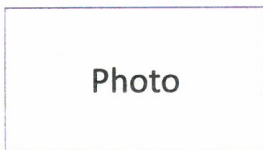
映像の内容	映像	コメント
<p>○○○○○○ ○○○○○○</p>	<p>Photo</p>	<p>*○○○○○○ ◇タイトルベース うちが揺れて、こう斜めになって倒れんのかな</p>
<p>居間の○○○○</p>	<p>Photo</p>	<p>くらいになって、それが二・三回続いたんですよ</p>
<p>大熊町の家の写真</p>	<p>Photo</p>	<p>あー、これまた潰れんという形で そんなこんなでなんとか地震が止んで、時間がほんと 長く感じて恐怖感に感じましたね</p>
<p>家の写真UP</p>	<p>Photo</p>	<p>まさか原発がね、</p>
<p>居間の○○○○</p>	<p>Photo</p>	<p>水素爆発するとは誰も思って なかったし、</p>

〇〇〇〇の手元



これからどうなるのかな、ホントに
戻れるのかな、戻れないのかな

横顔



また避難した時には家族ばらばらになってしまっ

居間の〇〇〇〇



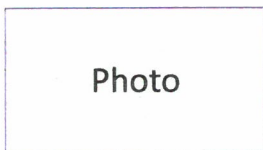
一緒に暮らせないのかな、そんな暗い気持ちが
先立っていましたね

大熊町の仮設住宅
(会津美里町)



仮設も200人、300人の所帯だったんで、そん中で
私もその中の自治会長やってまして、いろんな面で
助けたり、助けられたりしてましたね

居間の〇〇〇〇



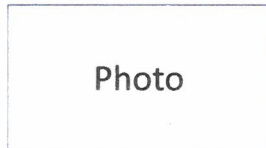
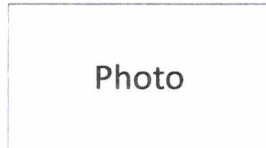
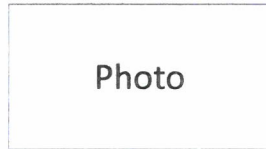
○○○○○○○
○○○○○○○

新地町の被災現場の
○○○○

新地沖の海

居間の○○○○

新地町の津波被害
(アーカイブより)



*○○○○○○○

◇タイトルベース

うちの父さんが、津波だー津波だーと大騒ぎするもので、何が津波、今何でもないのに、と思ったんだけど、

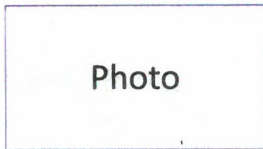
降りてきたらもうすごい田んぼが、全部水一杯

高台に行って我が家を見た時には、もう納屋とか動き始めたの、水で

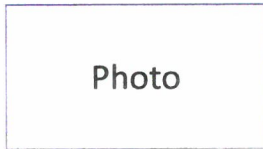
はやー、○○○○○○○の家ないわー流されたーという、そのね

なんでおらいのうちばかり流れたの、という感じだったのね、そんな時は

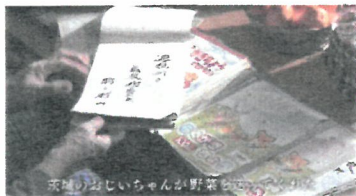
被災した〇〇〇〇〇〇
〇〇〇



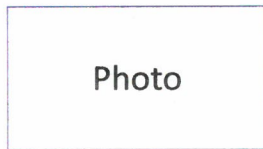
居間の〇〇〇〇



避難所時代の
ノートなど



居間の〇〇〇〇



避難所、体育館にだいたい450人から500人くらい
居たんですよ。その料理の責任者を仰せつかった
んです
そここでご飯の調達、材料の調達に走り回りました

茨城のおじいちゃんなんだけど、大根、葉っぱ
つけて、三本。あと小松菜これくらい
箱に入れて送ってくれたの

いやー私、泣いて泣いて泣いて泣いてね
涙が止まんないんだよ、それ、ありがたくて

○○○○○○○
○○○○○○○

福島空港玄関
インサートもう1枚（管制
塔）

滑走路

滑走路バックの
○○○○○

震災後2・3日経った
福島空港
（福島空港ビル提供）
インサートもう1枚（空港
内当時の様子）

Photo



Photo



*○○○○○○○
◇タイトルベース

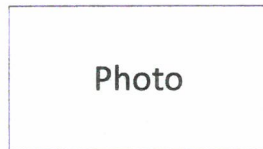
最初、地震が起きた時に空港は結構強い岩盤の上に
立っている所ですので、揺れはそこまで酷く
なかったです

原子力発電所の事故があったので、
とにかく福島県にはいられないという方、
どこでもいいから、どっかないですかという
問い合わせがすごく殺到して

で、とりあえずキャンセル待ちなので、何日
かかるかわかりませんよ、と電話で話をしても
取り合えず空港の方が安全なので行ってみます

福島空港で寝る被災者
(福島空港ビル提供)

滑走路をバックに
○○○○



ということで、という方が結構多くいらっかった (※キャプション修正)
ので、最大で330名空港内で一夜を過ごした

映像の内容	映像（未挿入）	コメント
<p>○○○○○：○○○○○○○ ○○○○○○○ ○○○○○○○○○</p>	<p>Photo</p>	<p>*○○○○○○○○○ ◇タイトルベース</p> <p>学校に来て、校舎を目にするによって、そういえばあそこで</p>
<p>小学校近くを歩く ○○○○○</p>	<p>Photo</p>	<p>こんなことがあった。誰々ちゃんとあんなことが</p>
<p>手元UP</p>		<p>あったという、記憶を引っ張り出すトリガーにすごくなるんですよ、学校って</p>
<p>請戸小学校を見る ○○○○○</p>	<p>Photo</p>	<p>ここで、学年ごとに植物植えてたなーとか、</p>
<p>横顔</p>	<p>Photo</p>	<p>休み時間に廊下にある将棋で、ドミノみたいなこと</p>

請戸小学校バックに

○○○○

○○○○雑感

請戸漁港を見る

○○○○

請戸小学校バックに

○○○○

Photo

Photo

Photo

Photo

Photo

したなーとか、そういうくだらないことの方が浮かんできます

震災当時、結局みんながみんな連絡先がわからないんですよ、それぞれが。なので浪江町の掲示板を

介して、先生とつながり、そこから友達とつながり
ちょっとずつ、ちょっとずつ連絡先を知っていったんですよ

請戸地区が存在していたということを
残していきたい。

請戸小学校のこととかを、伝えていける語り部のようなことも
できたらいいな、と思っています。

富岡町役場

○●○○○ : ○○○○

○○○

○○○○○○○

※インサート1枚 (教室を歩く○○○○○)

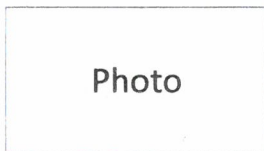
2時46分で止まった
時計

教室雑感

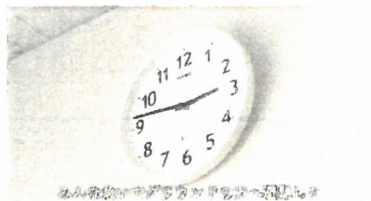
校舎雑感

※インサート1枚 (校章)

教室での○○○○○



Photo



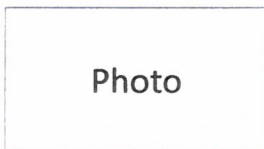
みんな教室からグラウンドの方へ避難した時



校舎がすごく揺れているのが見えて



校舎がすごく揺れているのが見えて



Photo

*○○○○○○○

◇タイトルベース

先生が「避難しろ」と下からその声が聞こえて
来たので、みんな急いでグラウンドの方へ避難
しました。

外に出たら出たで、校舎がすごく揺れているのが見えて、

みんなそれを見ながら、本当に恐怖心ですかね。

学校のグラウンドに避難して、皆避難し終わった
状態の時に、校長先生から

津波被害を受けた
富岡駅

(アーカイブ)

※インサート1枚(駅の様子)

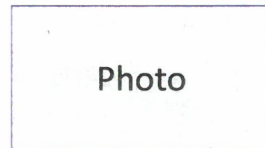
※インサート1枚(教室の

○○○○)

校舎の前を歩く

○○○○

教室の○○○○



「たった今富岡駅が津波で流された」というアナウンスがあったんです
皆なかなか信じられなくて、自分たちが海側に行かないための、
うそなんじゃないかな、なんて声もあったくらいで、
ほんとに現実的じゃないところがありました

どんどん、原発事故、水素爆発も含めて最悪の状況になっていく中で、
すぐ帰れるのかな、と思っていたものが、自分の中で

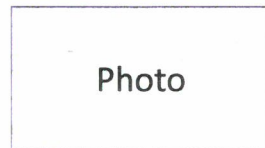
「これは帰れないんだな」って、思う感情が
どんどん強くなっていきました

○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○

(○○○○○○○○)

○○○○○○



*○○○○○○

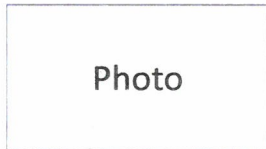
◇タイトルベース

猪苗代では、先輩ではないんですけど、同期と

バドミントン部
練習風景



体育館での
○○○



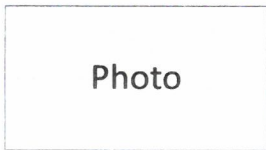
富岡魂の幕



ふたば未来学園



体育館での
○○○



一緒に猪苗代湖を自転車で一周したり、自分が
高校一年生の時に、インターハイで男女アベック

優勝したので、猪苗代湖沿いでバーベキューを
したり、楽しい思い出があります

バドミントンを通して、広野町を温かく出来たら
いいな、と思っています


猪苗代町には、ほんとに感謝しかありません

この受けた恩に報いる取り組みが出来れば
いいな、と思っております。

A3-3 キーワード	家族や地域生活との別れ・変化①
ねらい	県民が震災を通して感じた思いについて 家族や地域生活に関することを中心に伝える

氏名：○○○○

関連市町村：○○○○

映像	キャプション or コメント
<p>Photo</p> <p>人物紹介カット</p>	<p>(キャプション)</p> <p>○○○○○○○○</p> <p>○○○○</p>
<p>Photo</p> <p>1S インタビュー</p>	<p>(コメント)</p> <p>ほとんど一面が海のような状態で 家の気配がほとんどないような状況で</p>
 <p>ろうそくに火を灯す</p> <p>Photo</p> <p>線香を火にかざす</p>	<p>(コメント)</p> <p>携帯とかはね、 娘も息子も家内も持ってはいただけでも 通じる状況ではなかったし</p> <p>(コメント)</p> <p>結果としていろんな部分を聞いても 家族を見たっていう人がなくて</p>



 <p>位牌</p> <p>Photo</p> <p>手を合わせる○○○○</p>	<p>(コメント及びキャプション)</p> <p>家内は 地震のあとに津波くるって聞いて戻ったっていうかね</p> <p>(コメント)</p> <p>そこで津波にあったっていう状況だわな</p>
<p>Photo</p> <p>1S インタビュー</p>	<p>(コメント)</p> <p>本当に俺もな、 悔しいとか辛いとか悲しいとか こういうなんかで形容できないような感じ</p>
<p>Photo</p> <p>野馬追①</p> <p>Photo</p> <p>野馬追②</p>	<p>(コメント)</p> <p>震災前から相馬野馬追いに出ててね それは家族の協力があってやってこれたのね</p>

<p>Photo</p> <p>これまでの野馬追い写真</p> <p>Photo</p> <p>野馬追に参加する○○○○○○</p>	<p>(コメント)</p> <p>なんていうの、この野馬追があったから</p> <p>(コメント)</p> <p>やれるっていうかさ、生きがいの発想</p>
<p>Photo</p> <p>家族遺影</p>	<p>(コメント)</p> <p>がんばれよって言われているような気はしているよ いるんな場面では</p>
<p>Photo</p> <p>野馬追の甲冑を修繕する○○○○</p>  <p>手元</p>	<p>(コメント)</p> <p>死んだときにあいつは好きなことやってたからなって 言われるような</p>
<p>Photo</p>	<p>生き方みたいなことは思って意識してはいる</p>
<p>END</p>	

A3-3 キーワード	家族や地域生活との別れ・変化②
ねらい	県民が震災を通して感じた思いについて 家族や地域生活に関することを中心に伝える

氏名：○○○○
関連市町村：○○○

映像	キャプション or コメント
Photo 人物紹介カット	(キャプション) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○
※インサート1枚 【避難先埼玉県立高校の外観】	(コメント) 双葉町は埼玉に行くことになったっていう 連絡が入ったのでバスで避難してきました
1S インタビュー ※インサート1枚 【避難先校舎内廊下での当時の様子】	(コメント) 結構農家の人はどんな人だか 人間性を知っていたんですね それとだんだんだんだんかけ離れていく
Photo 1S インタビュー	(コメント) ものを全部一瞬にして失くしたっていうことは こういう風に人間変わっちゃうのかなっていう 悲しいというか寂しいというか悔しいというか



	(コメント) 仕事をしようなんていう 馬鹿な考えを起こす人は誰もいない
加須市にて農作業の様子① Photo	(コメント) それで、だったら私が先に 私とお父さんが一番先に、仕事に行ったら 私みたいなのでできることはあるから 皆さん何か探してくれないかなと思って
加須市にて農作業の様子② 	(コメント) 家は買わなくては住むところがなくなるから
加須市ロング Photo	(コメント) 何とかお金があるうちに買いましたけど
加須市の家で猫とじゃれあう Photo 1S インタビュー	(コメント) そこがやっぱり 安らげる場所って言ったらそれは、違いますよね
END	

A3-3 キーワード	家族や地域生活との別れ・変化③
ねらい	県民が震災を通して感じた思いについて 家族や地域生活に関することを中心に伝える

氏名：○○○○
関連市町村：○○○

映像	キャプション or コメント
Photo 人物紹介カット	(キャプション) ○○○○○○○○○○●●○○ ○○○○
Photo 1Sインタビュー	(コメント) 5月くらいになると暑くなってくるじゃないですか
※インサート1枚 【○○○○の家での様子】 ※インサート1枚 【家族団らん】	(コメント) 娘と随分ケンカをしまして スカートがはきたいって 女の子だから言ってきて 福島にいたらもうスカート はけないのって言われちゃったんですよ

Photo 1Sインタビュー	(コメント) 友人が山形県の山形市に暮らしていましたので それで避難することを決めました
※インサート1枚 【避難先での生活の様子】 ※キャプション 自主避難した山形県で同じ境遇の母 親たちと出会う	(コメント) いざ移動してみると本当に孤独で どうしたらいいかわからないという方たちが ものすごくたくさんいらっしゃって 経済的な負担で どんどん追い詰められていくわけですよ お金が無くなってくる 食べるものも買えないというふうになると
Photo 1Sインタビュー	(コメント) 小さい子どもにあたってしまって ものすごく罪悪感を感じて うつ傾向になっていくお母さんたちっていうのが 結構いらっしゃったりして
※インサート1枚 【○○○○○○○活動写真】 データ挿入予定	(コメント) これは何とかしなくちゃいけない ということで色んな交流会を企画したりとか
Photo 1Sインタビュー	(コメント) バツと集まるくらい皆さん 福島っていうワードで つながりたいという思いが強かったですね
END	

映像の内容	映像	コメント
<p>○○○○○ ○○○○○○○</p>	<p>Photo</p>	<p>*○○○○○○○ ◇タイトルベース</p>
<p>○○○○○</p> <p>※キャプション修正： 「避難指示に伴い、～」</p>	<p>Photo</p>	<p>震災がなければ、自分たちだけでもこの仕事と いうのは成り立つ</p>
<p>牛舎</p>		<p>で、震災でいろいろなことを気付かされたり、 教えられたり、ということがあって</p>
<p>○○○○○○○</p>	<p>Photo</p>	<p>悲しいことではあったんですけど、プラスに 考えれば、より一層牛を大切に育て飼うのを 再認識する期間ということにしたいな、と</p>
<p>子牛</p>		

牛に餌を与える

○○○○○

Photo

で、これからの人生はやっぱり色々な方々に
支えてもらった分、というのを自分たちが
持っている技術というのを、

牛舎内の

○○○○○

Photo

惜しみなくそういう人たちにも共有して、できれば村を引っ張って
いけるような。

牛舎内を整える

○○○○○

Photo

止まってもね、どうしようもないので
一步一步ずつでも元の形を取り戻すには、
行動するしかないと思っているので、ハイ。

○○○○○

Photo

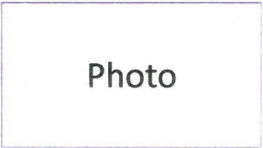
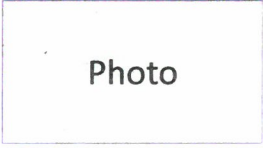
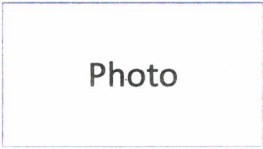
○○○○○
○○
○○○○○○

蔵の中の○○○○

○○○○○
(長井市)
※インサート1枚
(玄関前の看板)

蔵の中の○○○○

仕込み中の○○○○



*○○○○○○
◇タイトルベース

自分たち、原発事故という本当に会わなくて
いいものになってしまって、地域の文化継承が
すごく難しくなっているんですけど

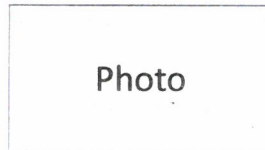
この長井市というのが、在来野菜だったり、それを使った
伝統食がすごく残っているんですね

自分たちの一次産品の価値を高めるために
市内の生ごみを集めて肥料にして、また
一次産品を再生産するという、取り組みを
しているんですけど

この町に来て、その取り組みを目の当たりにして
いると、やはり自分たちここに来たのは、意味が
ないということはない、と思っていまして

浪江町の
水稻実証実験
(アーカイブ)

○○○○



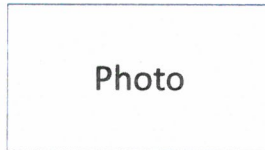
やり方なんかを浪江町でも参考にできれば、
また浪江の農業にも一石投じることができるので
ないかと思っていますので

その地域の価値を高めながら、循環して行って
いろんな地域が持続性増すような取り組みを
自分の商売通じて出来れば、いいかなと
思ってます

○○○○○○○○
⊖⊖⊖⊖⊖
○○○○○○
○○○○○○

ハウスの花

※ロボットトラクタなど映像
or画像素材追加したい



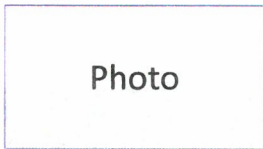
*○○○○○○○
◇タイトルベース

中間層が戻ってこない そういった現状が
続いているんですね

で、我々もやっぱり後の世代の人たちに

農業そのものをよく理解していただいて

事務所内の〇〇〇〇



今以上に
頑張ってもらいたいという思いがあるんですけど

ハウス外観



なかなか戻らない、そういう世代が多くいる中で
やっぱり期待するところは、若い人に
期待せざるを得ない状況になっているもんですから

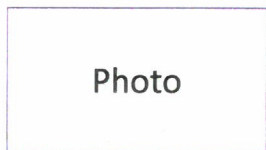
※インサート1枚
(花を手入れする〇〇〇〇)

ハウスの花



自分たちで、自ら経験をし、モノを作って
その喜びを知り、農業の良さ、さらにはやりがい

花を手入れする
〇〇〇〇



農業の魅力、そういったものをしっかりと
自分の口で発信していかないとやっぱり

※インサート1枚
(事務所内の〇〇〇〇)

若葉




本当の意味での農業の復興はあり得ない
そういった若い人が農業に取り組んでくれる
そういった形を一日も早く作っていききたい

○○○○

Photo

本当の意味での農業の復興はあり得ない
そういった若い人が農業に取り組んでくれる
そういった形を一日も早く作っていきたい
こういう想いでいっぱいですね

00-02	タイトル	行政による復興への取り組み 証言映像
02-27	Photo	○○○○○○○○○ 「○○○○○」○○○○○ ○○ ○○○○
	Photo	帰還困難区域以外は、日中の立ち入りが自由になると、いうことがあったもので、
	※インサート 現場事務所とスタッフ (申請中) SP:○○○○○ 役場職員OBや元消防士など6人で2013年に結成	現場に事務所を開いて、退職組で声をかけてやったということです。
	Photo	具体的には、最初は除染もしていなかったもので、まず、
	※インサート 活動の様子 SP:町民の一時帰宅のサポート、町内パトロール	自分たちの事務所の周りの整備ですね、あとは町民の一時帰宅のサポート、あと当時、
	Photo	上水道が全然機能してなかったの
	※インサート SP:火災発生に備えて	ダムの水、そこからの農業用水を

	消火用水の整備	
03-24	Photo	消火用水にしよう、ということで町内、水路の中に水を通して万が一の火災発生に備えたと。 もう、忙しかったですね。
00-08	Photo	○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○ ○○ ○○ ○○○
	 SP:仮校舎で再開した双葉南小学校(いわき市) ※インサート:写真(仮校舎)	ここはですね、双葉町から遠く離れたいわき市錦地区にですね、仮設校舎として双葉町が建てた学校です。
	Photo	たくさんの子どもがここで、双葉の子どもとしてがんばって勉強・運動をしています。
	※インサート:写真 (使用が決定したら画質の良いものを再送していただく) SP:「ふるさと創造学」 双葉町の良さやふるさと出身の人についての勉強をおこなっている	「ふるさと創造学」なんていうことですね、総合的な学習等を利用してふるさとの良さ、ふるさとの人たちのすばらしさ、なんていうことを今、勉強しているところです。
	※インサート:写真	

01-06	<p>SP: 双葉の「標葉せん だん太鼓」など、学んだことを発表する活動もしている</p>	<p>ふるさとというものがあるんだ、ということが子供達の自信につながるんだというふうに私は思っております。</p>
	<p>Photo</p> <p>SP: "ふるさと"がある事が自信に</p>	<p>僕には、双葉…あるいは双葉郡というきちんとしたふるさとがあるんだ、根無し草じゃないんだという事が自信となってこれからの、きびしい世の中にたちむかっていけるのではないかな、っていうふうに思っています。</p>
01-12	<p>Photo</p>	<p>○○○○○○○○ ○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○ ○○○○</p>
	<p>Photo</p> <p>SP: ホープツーリズム 福島に来て、実際に見て実際に聞く SP: 震災について「自分事」として考える学びの旅</p>	<p>ホープツーリズムというのは、実際に福島に来てですね、実際に自分の目で見て多くの方の話を聞いて、福島で当時何がおきたのか、今どうなっているのか、そしてこれからどうしていこうとしているのか、それをですね「自分事」として考えてもらう…そういう学びの旅だと思います。</p>
	<p>※インサート;写真 (著作権処理済み、使用可を確認) SP: 50年後の日本社会について考えるワークショップ</p>	<p>最初、一回目のツアーの時に最後の日にワークショップをやったんですね。 そのワークショップの内容は50年後、日本社会を自分たちはどんな社会にしたいのか。 で、そこで高校生たちがみんなすごく真剣に考えてくれたんですね。</p>
	<p>Photo</p>	<p>それはやっぱり福島の現場で多くの方の話を</p>
	<p>※インサート;写真</p>	<p>聞いて、多くのことを見て、自分事としてとらえられ</p>

02:20	<p>SP: 聞く SP: 見る</p>	<p>だからだと思うんです。</p>
	<p>Photo</p> <p>SP: 二度と原発事故をおこさない</p>	<p>で、それを見た時に、このツアーはこの後、どんどん大きなひろがりを見せるだろうと。 ひとことで言うと、二度とこのような事故をおこさない、それが</p>
	<p>※インサート;写真 SP: 自分たちの社会は自分たちで作る</p>	<p>ホープツーリズムの最大の願いです。 自分たちの社会は自分たちで作る、</p>
	<p>SP: 自分たちで良くしていく Photo</p>	<p>自分たちで良くしていくしか無いので、その大きなカギがですね、この福島にあるんじゃないかなと考えています。</p>

(3) A3-3 家族や地域生活との別れ・変化 コーナー

震災・原子力発電所事故により余儀なくされた日常生活の変化、状況の変化に対する人々の想いについて、証言を通して伝える。

- ○○ ○○○ (○○○○○○)
- ○○ ○○○ (○○○:○○○○○○○○○○)
- ○○ ○○○ (○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○:○○○○○○)

(4) A3-4 生活基盤の変化・将来への想い コーナー

原子力発電所事故の影響による生活・産業の変化や、人々の将来への想いについて、証言を通して伝える。

- ○○○ ○○○ (○○○:○○○ ○○○)
- ○○ ○○○ (○○○○○○○○○○○○:○○○○)
- ○○ ○○○ (○○○○:○○○○)

A5 復興への挑戦 ソーン

(1) A5-1 行政による復興への取組 コーナー

行政による復興の取組について、証言を通して伝える。

- ○○ ○○○ (○○○○○○○○、○○○○○)
- ○○ ○○ (○○○○○○○○)
- ○○ ○○○ (○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○)